

報告第3号

類似町村の議会運営に関する事務の調査について

令和6年6月19日、本委員会に付託された標記の調査の結果について、小坂町議会
会議規則第71条の規定により、次のとおり報告書を提出します。

令和7年3月7日

小坂町議会議長 目 時 重 雄 殿

議会運営委員長 本 田 佳 子

議会運営委員会事務調査報告

1. 調査事項

(1) 議会運営の活性化について

2. 調査場所

(1) 岩手県平泉町

3. 調査の目的とするところ

類似町村の議会運営に関する調査を実施して、当町議会活動の一助とする。

4. 調査期間

令和6年10月2日（水）～10月3日（木）

5. 調査委員

（委員長）本田 佳子 （副委員長）工藤 文明

（委員）船水 隆一、鹿兒島 巖、秋元 英俊

6. 調査の内容

(1) 町の概要

①沿革・地勢

岩手県の南部に位置し、一関市と奥州市に隣接しており、北上盆地を挟んで東に東稲山を主峰とする500m級の連山、西に奥羽山脈から張り出す平泉丘陵があり、盆地の中央を北上川が流れている。

内陸型気候であり、土地は、山林原野48.2%、耕地25.9%で、北上川沿いの沖積地と山地緩斜面を利用して「米作プラス商業的畑作」という複合経営が営まれている。

昭和28年10月1日町政施行。昭和30年4月15日平泉町と長島村が合併し、現在の平泉町となる。

平泉丘陵の東端に平安末期の中尊寺・毛越寺・無量光院など藤原三代の遺跡・文化が多く残っているのが特色である。

②人口・産業別就労人口割合

・人口6,780人、世帯数2,595世帯（令和6年4月1日現在）

・産業別人口割合

第一次 13.6% 第二次 28.6% 第三次 57.8%

（令和2年国勢調査）

③産業

基幹産業は農業で、特産品の開発や6次産業化に取り組んでいる。昭和30年

頃までは、繭、大麻、菜種などが多かったが、その後リンゴ、野菜、畜産に変わってきている。豊かな自然と歴史や文化に育まれた町の特産品には、秀衡塗、大文字りんご、米、ヤーコン、ワイン、どぶろく、黄金メロン、和からし、かりんとうまんじゅうなどがある。

(2) 調査テーマ

議会運営の活性化について

- ①タブレット導入によるデジタル化について
- ②議会中継について

(3) 調査事項

今回の研修は、平泉町議会が議会のデジタル化の先進地であることから、視察調査を行った。

①タブレット端末の導入

議会機能強化のため、議会のICT化の一つとしてタブレットを導入していた。

○議会機能強化と議会改革の取り組み

- ・平泉町議会基本条例を制定（平成27年12月）
- ・議員間の議論充実や、議会モニター制度を活用した町民参加・町民との連携の推進、女性議員を増やすための環境整備
- ・オンライン会議導入（令和4年4月）による議会のICT化
- ・災害・感染症に対応した業務継続計画（議会BCP）を策定（令和4年3月）
- ・情報共有の取組みとして、会議や政務活動費を公開
- ・住民参画の取組みとして、傍聴席（モニター傍聴）の設置やワークショップ形式の町民との対話と議会だよりモニターの設置（令和5年7月委嘱）
- ・通年議会、反問権検討、自由討議・議会モニターの先進地事例研究
- ・議会へのタブレット導入（令和3年4月）
- ・議会業務継続計画（議会BCP）の作成（令和4年3月）
- ・広報広聴常任委員会設置（令和6年4月）

○タブレット導入スケジュール

- ・令和2年10月に議会改革推進会議で導入検討し、先進地視察等行い、運営委員会、全員協議会で検討した後、同年12月に予算議決。
- ・令和3年1月に入札・契約し、2月にタブレット納品。
- ・令和3年4月からタブレット本格使用。令和4年1月には議会配付資料なし。（予算書・決算書・主要成果報告書を除く）

○議会ICT化のメリット

- ・オンライン会議の開催や災害有事への備え、住民とつながる広報広聴や業務量と経費削減ができる。

○タブレット端末の導入効果

- ・ コロナ禍において、各議員への配信による情報共有により議会機能を強化
- ・ 委員会や全員協議会などのオンライン会議を積極的に開催（令和４年度７回、令和５年度１１回実施）
- ・ 災害等の有事の際の情報収集や情報共有、安否確認、オンラインによる災害対策連絡会議の実施
- ・ 町民や各団体の意見を聞き、執行機関への提言と議会活動の紹介
- ・ 議案書などの配付資料、各種計画、通知などの廃止による紙削減
- ・ 議案書印刷や配付等の時間削減

②議会中継について

平成２７年３月から議会映像配信システム導入。

議場カメラ６台、主カメラは前後２台設置。

議会傍聴（モニター）室を設置し、ＷＥＢ中継実施（令和２年９月）

（５）所 感

タブレット端末に関しては、議会改革推進会議で導入効果を検討し、運営委員会・全員協議会で検討のうえ短期間で予算議決しており、導入後においても委員会などオンライン会議を開催し、議会のＩＣＴ化に取り組んでいた。

また、災害時における議会の役割を明確にするための議会業務継続計画も策定し、災害時の議会機能の維持を図り、復旧・復興期の段階で必要に応じて審議・調査等を行える体制を整備し、タブレット端末を活用した災害対応訓練も実施しており、大変参考になった。

タブレット端末は、導入効果も多数あり、当議会でも早期に導入すべきと考える。早期導入するとともに、導入後の活用方法についても議論し合い、小坂町議会としての機能強化と議員活動の活性化につなげていきたい。